



学年通信

～広い路～



2年間を振り返って

長いようで短い、短いようで長い2年生が間もなく終わろうとしている。皆さんの体は食べたもので構成され、心は交わした言葉と経験で成長していく。この2年間、担任を始め多くの先生方や先輩、友達、講演会等から数えきれない程の言葉と、修学旅行や探究活動の発表、部活動などの多くの経験を注入されてきた。その成果をぜひ振り返って総括をしてから3年生を迎えてほしい。できれば「2年間を振り返って」という題で800字程度の作文を書いてみるのも良いかもしれない。800字では収まらないほどの経験をしているはずだ。4月からの1年間は何をするにしても「最後」が付いてまわる。日常が「次のない高校生活」である。だからこそこの2年間でしっかりと振り返り、進路などで悩んだ時も注入された言葉や経験を思い出して乗り越えられるように、総括しておくことを勧める。これが2年生最後の学年通信となる。学年団から皆さんへの激励のメッセージを載せる。ぜひ、振り返りと3年生に向けての指針として心に刻んでほしい。



春季課外・専門学校志望者対象ガイダンス・各種模試のお知らせ

春季課外

期日:3月21日(金)・28日(金)4月3日(木)の3日間(13:00～16:20)
内容:国語・数学・英語の演習問題

専門学校ガイダンス

4月に専門学校志望者を対象とした進路ガイダンスが行われます。内容は専門学校の特徴や厳しさ、学費や入試形態、そして面接・志願理由指導等です。より具体的な内容となりますので、専門学校希望者は行きたい学校や学びたい内容を明確にしてガイダンスに臨めるように準備を進めておきましょう。

各種模試

公務員模試

対象者:公務員を希望する者
期日:4月11日(金)

実力診断テスト

対象者:就職・公務員・専門学校を希望する者
期日:4月12日(土)

進研模試

対象者:大学・短期大学を希望する者
期日:4月11日(金)・12日(土)

日々、挑戦!



4月行事予定表 (予定は変更される場合もあります)

福島県立喜多方高等学校

日	曜	校内関係	あなたの予定
1	火	学年始休業(~4/7)	
2	水	部紹介リハーサル	
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月		
8	火	第1学期 始業式 入学式 8:10~ 8:20 SHR 8:25~ 8:50 清掃(前年度分担区域) 8:55~ 9:30 入場・着任式・始業式 9:45~ 10:45 LHR 11:30~ 入学式準備(3年生は放課) 13:30~ 入学式	
9	水	課題テスト(1~3年) 対面式・部活動紹介 自転車登録(~14日) 登校指導(~10日)	
10	木	短縮45分授業 教科ガイダンス(1年 ~4/11) 身分証明書写真撮影(1年 7校時)	
11	金	短縮45分授業 進研模試・公務員模試(3年)	
12	土	進研模試・実力診断テスト(3年)	
13	日		
14	月	短縮45分授業 スタディサポート(1・2年) 第1回進路希望調査(~18日)	
15	火	短縮40分授業 部登録	
16	水	短縮45分授業 委員会登録	
17	木	内科検診(3年)	
18	金		
19	土		
20	日		
21	月		
22	火	金曜日の授業 内科検診(2年)	
23	水		
24	木	短縮40分授業 歯科検診	
25	金	火曜日の授業 ⑤⑥身体測定 ⑦生徒会総会	
26	土	PTA総会(金曜3~5校時の授業)	
27	日		
28	月	PTA総会振替休日	
29	火	昭和の日	
30	水		
[5月の主な行事]			
1	木	登校指導	21 水 壮行会
10	土	考査前学習会	23 金 短縮45分授業
13	火	尿検査(1回目)	27 火 短縮45分授業 避難訓練(震災) 尿検査(2回目)
16	金	~21水 1学期中間考査	28 水 短縮40分授業 交通安全教室

2年生諸君へ一言

1組 担任 今川吉晃

2年生になってからの皆さんの印象に残っていることは何ですか。新しいクラスでの日々の生活、小文化祭、修学旅行、インターンシップ、勉強、部活…1つひとつ思い返していくと、それぞれに思い出があると思います。高校生活もあと1年です。希望する進路に向けての歩みが現実味を帯びてきつつあると思います。就職も進学も確かなものにできるよう、一步ずつ踏み出していきましょう。

副担任 山口 昌男

年度初めに、“2学年は、高校3年間で、自分が頑張った分だけ他の人との差が出る学年、進路選択に幅を持たせるためにも、いろいろと挑戦し、頑張りましょう”というメッセージを伝えたと思います。この1年を振り返ってどうだったでしょうか。有意義な時間を過ごせた人はいいいのですが、頑張り切れなかった人や頑張らなかった人は、その差を埋めようとするためには、それ相当の覚悟や何倍もの努力を要するはずです。自分の将来を考え、6か月先からの進路活動に支障が出ないように、また後悔しないように、しっかりとやるべきことをきちんとやってください。そして1年後の卒業式に晴れやかな気持ちで臨めるようにしてください。

2組 担任 菅原宏理

納戸の片づけをしていたら小さいころに見ていたマンガが出てきました。読んでみましたが懐かしいだけで面白くはありません。よくこんなので大笑いしてたもんだと変に感心しました。あたり前のことですね。みなさんも同じでしょう。この変化は日々過ごしてきた時間とそこで得られた知識が積み重なった結果です。

積み重ねられた膨大な知識が、私たちを変えてきました。これからも同じです。不要な知識などひとつもありません。つまらないと思う知識も将来の自分をつくる大切な欠片なんだと思います。

勉強を続けましょう！ちょっと背伸びして本を読みましょう！面白くないことを面白いと思える人になるために。豊かな人生のために。

副担任 江本恵

2年生を振り返って、達成できなかった目標はあったらどうか。もしあったのなら、やってほしいことがある。できない理由を探すより、できる方法を3つ考えてほしい。つまり、頭の中でネガティブ（マイナス-）な想像をしないで、ポジティブ（プラス+）な発想をする習慣をつけてほしいのだ。そして、山積みになっている課題から目を背けているそこのあなた！「できることからやれる人が、できないことをやれる人」です。いよいよ最終学年！自分の進む道を、自分の責任で切り拓いていこう。

3組 担任 黒田綾子

進級を迎え、いよいよ3年生になりますね。「やってやろうじゃないか！」と心に火が付きましてか？人生の分かれ目といってもいいくらい、ここでの選択が将来の自分にかかわってきます。そんなことを言うと怖くなってしまふかもしれませんね。でも、「自分のことは自分で決める」それが大人になるってことです。迷うのは大いに結構。自分の選択を信じて努力しましょう。しかし、「努力が報われるとは限らない。」と思う人もいるでしょう。でも、「努力しなければ報われるはずがない」のです。一緒に頑張りましょう。

副担任 橋本 翔平

「Don't try to hit me and hit me!」（私を打とうとするな、打つんだ！） 映画『マトリックス』より
思うより先に、「する」！ まずは打つべし！ 結果や方法を気にするあまり、結局何も始められないことがよくあります。「これって、なんか意味あるのかな？」「これってやり方合ってるの？」「な～んかやる気がでないんだよなあ～」などなど……。しかし、やる気はやる内に湧いてくるもの。よりよい方法は、やる内に編まれていくもの。まず、打たねば！

残りの高校生活、勇気をもって打ち続けて下さい。1年間、大変お世話になりました。応援しています！

4組 担任 古川 陽子

突然ですが、質問です。1個1,000円で販売された青森のりんごが飛ぶように売れました。その理由は何だと思いますか。

平成3年9月28日、青森県の津軽地方を台風19号が襲いました。最大瞬間風速50メートル超え（電柱が倒れるほど）の強風により、りんご農家は甚大な被害を受けました。もうわかりましたか。このりんごは、暴風にも耐えた「落ちないりんご」だったのです。明治神宮や湯島神社など、学問に縁のある計8箇所販売されたこの「落ちないりんご」は、瞬く間に完売したということです。

私は、「ピンチはチャンス」という言葉が好きです。決して諦めない。よく考え、視点を変えることで状況は打破されるのです。何もやらなかったら、何もできないまま終わってしまいます。そんなのは、嫌です。皆さんの今後1年間の成長を楽しみにしています。

副担任 小向 哲志

生徒のみなさん、この1年間もしくは2年間を振り返ってみて、いかがでしょうか。勉強や部活動に対する取り組みや結果に満足していますか。気のせいかもしれませんが、はた目から見て「努力が足りないように見える人」ほど「十分に努力した、これで不満はない、これで何とかなる」と楽観して努力を怠り、普通に努力している人との差がどんどん広がっているような気がします。高校最後の1年間をどのように過ごしますか。真剣に考えて、後悔のない1年間にしてほしいと思います。

1年間ありがとうございました。もし縁があったら、来年度もよろしくお願いします。

5組 担任 鈴木 竜司

私の好きな山の一つが月山です。森林限界を超え灌木帯を超えた先、ごつごつした岩場を登っていくと、高山植物が岩の間を埋め尽くすように咲いている素敵な場所があります。「雲の峰いくつ崩れて月の山」と芭蕉が句にしたように、日本海側からの風が強く当たる場所で、冬も厳しく雪の深い場所です。そんな場所で、冷たい風にさらされてもしっかり根を張りしがみつき、重い雪に押し込められても折れることなくしなやかに、耐えに耐えて咲き誇る花々がある場所です。群生するようになるまでに積み重ねた時間に敬意を払い、自分も頑張ろうと思える場所です。いいところですよ。

副担任 佐藤 浩昭

高校3年生になる生徒に対し、教員になってから10数年前までは、「将来の夢は?」「夢を持とうよ。」なんて接していたような気がする。昔は、将来のイメージを今よりも明確に持てる時代でした。就職や結婚、経済的に豊かな生活スタイルを築くというイメージを多くの人が共有していました。今は「大多数に共通のレール」が昔よりも減って、人それぞれで自由に生きられる時代、つまり「生き方を決めなくてはいけない時代」になりました。世界全体が、生活スタイルや価値観、生き方の大きな転換期を迎えています。働き方も、お金も、時間も、健康も、全て自分で考え、価値を創造していくのです。

つまり、これだけ多様化した時代に溺れることなく生き抜くには、自分の哲学、信条をもち、自分の物事の判断基準を明確にしておくことが大切だと思います。そのためには社会の動きに目を向けなければなりません。指示待ちの受け身の姿勢では自分の進路は何も決まっていきません。自分の力で将来の生き方を見つけ出す作業が今最も大事だと思います。